

令和6年度（2024年度）

施政方針

沖縄市

第 430 回沖縄市議会定例会にあたり、令和 6 年度の市政運営に関する所信を申し上げ、市民の皆さま並びに議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

沖縄市は、令和 6 年 4 月 1 日に市制施行 50 周年を迎えます。昭和 49 年、基地の門前町として栄えたコザ市と中城湾港に臨むみどり豊かな美里村が歴史的な合併を果たし、本市が誕生いたしました。

半世紀の歩みを振り返りますと、新生・沖縄市の将来像となる「国際文化観光都市」の実現に向けた取り組みをはじめ、海にひらけゆく新たなまちづくりを展望する東部海浜開発やスポーツコンベンションシティを予感させる沖縄県総合運動公園の誘致など、先人たちの先見性と大胆かつ壮大な構想は、私たちに圧倒するとともに、まちに、大いなる豊かさと幸福をもたらしております。

私は、激動ともいえる時代を果敢に切り拓き、たゆまぬ努力と情熱を注いで、今日の沖縄市へと成長させてきた先人たちに、深い敬意と感謝の意を表するとともに、市長就任 10 年の節目を目前に、これまで市民の皆さまにお示ししてきた数多くの公約を実現させてゆくことこそが、次の市制施行 100 周年をも越える未来への新たな礎になると確信し、市民の皆さまとともに、躍動する沖縄市の実現に取り組む決意であります。

市長就任時、公約に掲げた多目的アリーナにつきましては、多くの方々のご理解、ご協力のもと、立ちはだかる課題を一つひとつ乗り越え、本市のランドマークとなる沖縄アリーナとして実現するとともに、私は、このまちにさらなる活力を呼び込むため、世界を魅了する国際大会の誘致に奔走いたしました。

昨年開催された「F I B Aバスケットボールワールドカップ2023」では、沖縄アリーナの強力なホームアドバンテージを追い風に、男子日本代表が48年ぶりに自らの手でオリンピック出場権を獲得するという快挙を成し遂げました。

世界最高峰のプレーに触発されたこどもたちが、それぞれの夢や希望を将来に育てゆく、そんな明るい展望に満ちた大会となり、数々の奇跡を巻き起こしたこの世界大会は、本市にとって市民が誇りとする新たな歴史になると同時に、市民をはじめ多くの皆さまのご協力と先人たちの努力の歴史が大会の大成功へと導いてくれたのだと、万感胸に迫る思いであります。

私は、この世界大会の波及効果そして沖縄アリーナの力を最大限に活かして、多くの人々にとって、夢や希望、活力となる機会を創出するとともに、わがまちの活性化はもとより、強い沖縄経済の実現に貢献してまいります。

私は、沖縄観光に新たな価値を創出するとともに、F I B Aを契機とした内外の観光客を市域に引き寄せるため、沖縄こどもの国に、常設では国内初となる「ナイトZOO」をグランド

オープンいたします。

動物たちが見せる夜の表情に彩を添えるとともに、国内最大級となる夜間空間と水・緑を活かした幻想的な景観を演出するなど、毎年、進化し続ける日本一ユニークな動物園にダイナミックな魅力と新たな感動を創造するべく、挑戦してまいります。

「潮乃森」につきましては、先人たちの壮大な構想から長い歳月を経て、いよいよ人工ビーチの一部が供用開始いたします。

太平洋に抱かれた特別なリゾート空間がまばゆい朝日に照らされ、訪れる人々がスポーツ・健康・交流の生出す幸福感に包まれる、そんな光景に思いを馳せながら、私は、東部開発百年の大計である「潮乃森」の早期完成に向け、困難と対峙する覚悟で行動してまいります。

「(仮称)池武当 I C」につきましては、国の強力な後押しを受け、設置に向けた取り組みが本格的に始動いたします。

新たな I C がさらなる企業誘致と雇用創出の呼び水となり、周辺地域の交通円滑化や産業振興、ひいては中城湾港の物流等にも寄与する広域道路ネットワーク形成を促進してまいります。

新火葬場につきましては、厳かな雰囲気の中、このまちで市民が大切な人を心穏やかに見送ることができるよう、整備に向けて取り組んでまいります。

次の半世紀を見すえたとき、未来を担うこどもたちの夢や希望が叶う社会を築くことは、行政を預かる者の務めであります。

私は、貧困の連鎖という、この先送りしてはならない課題に真摯に向き合うとともに、解決の道筋を拓き、必ずや貧困の連鎖を断ち切るという気概で、地域や経済界等と力を合わせて、こどもたちの持つ無限の可能性と選択肢を広げる取り組みを、一層、押し進めてまいります。

価値観の多様化がすすみ、これまでの家庭・地域等の、人々の生活領域における支えあいの基盤が弱まりつつあるなか、人と人、人と資源が世代や分野を超え、つながり合う社会の再構築が求められております。

私は、市民一人ひとりが地域の一員として、緩やかにつながり、支え合う温かなセーフティネットに包み込まれるよう、福祉のグランドデザインともいえる地域共生社会の構築に取り組んでまいります。

世界に目を向けますと、ロシアとウクライナ間の戦争が膠着する一方、中東において新たな軍事衝突が勃発するなど、武力による争いが後を絶たないばかりか、リビア東部を襲った大洪水や、中国北部に上陸した大型台風による深刻な被害も生じております。

我が国においても、能登半島地震をはじめとする大規模震災や大雨等により各地で甚大な被害が生じるとともに、昨年本県を襲った台風6号が大きな爪痕を残すなど、世界的な紛争や自然災害は、決して対岸の出来事ではありません。

私は、世界の恒久平和と安全こそが、今日および未来の発展の基礎であるという認識のもと、国民保護や自然災害など、あってはならない事態への備えと強靱なまちづくりに取り組むとともに、自助・共助・公助の輪を確かなものにしてまいります。

そして、激甚化する自然災害から未来の沖縄、さらには世界を守っていくためにも、ゼロカーボンシティに向けた取り組みを、市民の皆さまとともにすすめてまいります。

この輝かしい節目の年を迎える今、私は、まちづくりに終着点はなく、常に進化し続けるとの思いを強く抱くとともに、先人たちが築いてきた礎に今日的意義を吹き込み、後世の人々が誇れるまちづくりへと突き進むべく、情熱と郷土愛をもって、国際文化観光都市の実現に邁進してまいります。

以上、私の市政運営に対する基本的な考えを述べさせていただきました。市民の皆さま並びに議員の皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、令和6年度の主な施策の概要について申し上げます。

はじめに「平和への思いと豊かな文化が息づき 一人ひとりが輝き交流するまち」です。

平和行政の推進につきましては、悲惨な沖縄戦の教訓および平和の尊さを継承するため、沖縄市民平和の日記念行事の開催、平和大使の広島県への派遣や平和学習コンテンツサイトの活用に取り組むなど、平和を広く発信します。

人権の啓発につきましては、性の多様性の理解促進に向けた講座等を開催するとともに、人権教室および特設人権相談所の開設を支援します。

認知症高齢者等の支援につきましては、住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりに向け、金銭管理に関する相談支援等をおこなうとともに、認知症地域支援推進員による支援体制の強化や認知症サポーターの養成等に取り組めます。

男女共同参画社会づくりの推進につきましては、きらめきフェスタの開催をはじめ、啓発紙「きらめき」の発行、男女共同参画週間等におけるパネル展や各種講座の開催等をとおして普及・啓発を図ります。

文化芸術の振興につきましては、芸術文化の継承発展に向け、「沖縄市文化芸術祭」を開催するとともに、文化活動団体等が実施する舞台公演や若者が主体となる文化活動等を支援し、市民が芸術文化に触れる機会を創出します。

戦後文化の発信と歴史学習の支援につきましては、沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリートにおいて、企画展を開催するとともに、市史資料の充実に向け、「沖縄市史」第五巻移民編および第六巻戦後編の発刊に取り組みます。

文化財の保存と活用につきましては、国指定名勝「アマミクヌムイ」に追加指定された越来グスクの保全に向け、実施設計をおこないます。

また、文化財の保護意識の向上を図るため、地域のわらべうたに関する普及書を作成するとともに、こども博物館講座等を実施します。

生涯学習の推進につきましては、学びの機会の創出および市民の学習意欲の向上を図るため、生涯学習フェスティバルの開催や生涯学習ガイドブックの発刊による情報発信等に取り組みます。

また、青年会等の社会教育団体の活動を支援します。

市民スポーツの推進につきましては、親子で参加できるスポーツ教室およびスポーツデイを開催するとともに、豊中市の子どもたちとのスポーツ交流をおこなうなど、スポーツ活動機会の提供に取り組めます。

国内交流につきましては、豊中市との兄弟都市提携 50 周年記念誌の共同発刊等に取り組むとともに、東海市および米沢市との教育文化交流をおこないます。

国際交流につきましては、国際性を備えた人材の育成および市民主体の交流促進を図るため、海外姉妹都市レイクウッド市への留学支援をおこなうとともに、コザインターナショナルプラザにおいて、地域と連携した国際交流イベントや各種語学講座等を実施します。

地域コミュニティの活性化につきましては、自治会の加入促進に向け、自治会活動に必要な備品の購入、デジタルを活用した多世代間の交流や地域ものづくり活動等を支援します。

地域コミュニティ活動拠点施設の整備につきましては、南桃園地区学習等供用施設の水道配管、山内コミュニティセンターのLED照明設備および泡瀬第三地区コミュニティ供用施設の調理室空調機を改修するとともに、山里自治会公民館の基本計画

策定および松本地区学習等供用施設の実施設設計をおこないます。

また、センター自治会における空調機およびLED照明設備の改修工事を支援します。

多文化共生の推進につきましては、在住外国人向け生活ガイドブックの見直しをおこなうとともに、庁内窓口における通訳や多言語で表記された広報誌の周知等に取り組みます。

次に「夢を抱き 未来を拓く こどものまち」です。

大学等への進学促進につきましては、意欲があるにもかかわらず、経済的理由により進学をあきらめることがないように、入学準備金を給付します。

また、修学にかかる負担軽減を図るため、沖縄市育英会の活動を支援します。

こどもの居場所づくりにつきましては、関係機関との連携のもと、居場所を必要とするこどもの状況を把握し、適切な支援につなげるとともに、自治会におけるこども食堂の開設および学習支援や食事提供等をおこなう団体を支援します。

若年妊産婦の支援につきましては、家庭や社会から孤立することなく、安心して出産・子育てができるよう、妊娠・出産・育

児に関する相談支援をおこなうとともに、資格取得費用の助成、自立に向けた生活指導や就労支援等に取り組みます。

待機児童の解消につきましては、保育人材の確保に向け、保育士試験対策講座の実施や県外保育人材の移住費用の助成等に取り組むとともに、保育士が働きやすい環境づくりに向け、保育支援者の配置や年休・休憩取得等を支援します。

認可外保育施設の支援につきましては、こどもたちの健やかな育ちを促進するため、給食費の助成や保育の質の向上を図る研修の実施等に取り組みます。

母子保健の推進につきましては、沖縄市親子手帳アプリ「OK I O K O」を活用した乳幼児健診の予約受付や情報発信等をおこなうとともに、産後うつ等の早期発見・支援を強化するため、産後ケア事業を拡充します。

発達の子の支援につきましては、沖縄市こども発達支援センターを中心に、発達相談、巡回相談や親子通園による療育をおこなうなど、こどもの発達段階に応じたきめ細やかな支援に取り組みます。

こども医療費助成につきましては、こどもの健康増進および子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、中学校卒業までの通院・入院医療費の窓口無料化を実施します。

ひとり親家庭の支援につきましては、就職に結びつく資格取得費用を助成し、社会的自立を促進するとともに、利用者に寄り添った自立支援の充実等を図るため、新たに母子生活支援施設「レインボーハイツ」に指定管理者制度を導入します。

また、放課後児童クラブおよび認可外保育施設の利用料を助成し、子育てにかかる経済的な負担を軽減します。

要保護児童等の支援につきましては、関係機関と連携し、虐待の早期発見および適切な対応に取り組むとともに、ヤングケアラーの負担軽減等に向け、育児・家事支援をおこなう訪問支援員を派遣します。

また、保護者の疾病等によりこどもを養育することが困難となった家庭に対し、新たにトワイライトステイおよびショートステイを実施します。

すべての妊産婦や子育て世帯等への包括的な支援につきましては、新たに母子保健と児童福祉の相談機能を一体化した「(仮称)沖縄市こども家庭センター」において、支援体制の充実・強化を図ります。

地域における子育て支援につきましては、ファミリー・サポート・センターにおいて、育児相互援助を促進するとともに、地域子育て支援センターやつどいの広場等において、保護者同士の交流の場を提供し、子育てに関する不安や孤立感等の軽減に取り組めます。

放課後の居場所づくりにつきましては、(仮称)美里中学校区児童館の建築工事をおこなうとともに、地域と連携し、小学校の敷地において、多様な体験活動および学習支援を実施します。

また、放課後児童クラブ以外の居場所の確保に向け、新たに自治会等に専門スタッフを配置します。

学力の向上につきましては、一人ひとりに応じたきめ細やかな学習支援をおこなうため、小学校に学習支援員を配置するとともに、中学校において、「ひやみかち教室」を実施し、個別最適な学びを提供します。

また、児童生徒の情報活用能力の育成および教員のICT活用指導力の向上を図るため、ICT支援員の配置等をおこないます。

学習意欲の向上につきましては、外国語および異文化に触れる機会を提供するため、中学生海外短期ホームステイを実施するとともに、小中学校に外国語指導助手を配置します。

また、科学の面白さを体験できる出前講座を開催するとともに、児童生徒の各種検定試験の検定料を助成します。

教育相談につきましては、小学校において、スクールカウンセラーによる児童・教職員等へのカウンセリングをおこなうとともに、中学校において、心の教室相談員による生徒の悩み相談に取り組みます。

不登校児童生徒の支援につきましては、適応指導教室「すだち」等において、学習支援や教育相談をおこなうなど、こどもたちの社会的自立に向けた支援に取り組みます。

また、(仮称)沖縄市教育支援センターの設置に向け、実施設計をおこないます。

特別な支援が必要な児童生徒につきましては、障がいの有無にかかわらず、ともに学ぶことができるよう、療育的支援コーディネーターや特別支援教育補助者等を配置するとともに、医療的ケア児に対する支援体制を充実するため、新たにチーフ看護師を配置します。

外国籍の児童生徒につきましては、学校生活に適應できるよう、日本語指導員による学習支援等をおこないます。

学校教育施設の整備につきましては、安慶田中学校の校舎解体工事や宮里小学校の昇降機改修工事等を実施するとともに、高原小学校のグラウンド改修工事や比屋根小学校の特定天井耐震化改修工事等をおこないます。

学校給食につきましては、安全・安心な給食を提供するため、第1調理場の改修に向けた実施設計および空調機設置工事をおこなうとともに、多子世帯の経済的負担軽減を図るため、同一世帯の3人目以降の児童生徒を対象に学校給食費を助成します。

青少年のスポーツ活動の促進につきましては、県外大会に参加する児童生徒の派遣費助成を拡充するとともに、沖縄市スポーツ少年団本部の活動を支援します。

青少年の健全育成につきましては、若者相談窓口において、社会生活を送ることが困難な若者の社会復帰に向けた支援に取り組むとともに、地域と連携した夜間街頭指導や合同街頭指導等を実施します。

次に「ともに生きる心が広がり いきいきと暮らせるまち」です。

地域福祉の推進につきましては、福祉ネットワークの形成やボランティア活動等を支援するとともに、複雑・複合化した支

援ニーズに対応する重層的支援に向け、関係機関との連携のもと、新たにアウトリーチ等を通じた継続的支援および参加支援の体制整備に取り組みます。

高齢者の福祉につきましては、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者を地域で支える体制づくりに取り組むとともに、住民主体の介護予防活動および社会参加を通じた高齢者の生きがいを促進します。

また、介護人材確保に向けた取り組みをおこなうとともに、介護職員初任者研修等にかかる受講費用を助成します。

障がい者の福祉につきましては、障がい者が地域で安心して暮らせるよう、適切な支援を実施するとともに、障がい者への差別解消および合理的配慮がおこなわれるよう、沖縄市障がい者差別解消支援地域協議会と連携し、普及啓発に取り組みます。

生活困窮者の自立促進につきましては、自立相談、就労準備や家計改善等に向けた支援をおこなうとともに、高校進学を目標とする中学生を後押しするため、学習支援の対象者を拡充します。

生活保護につきましては、適正な保護の実施を図るとともに、関係機関との連携による自立支援をおこないます。

市民の健康づくりにつきましては、健康に対する意識向上および健康の保持増進を図るため、健康レシピコンテストの開催、けんこう応援店の拡充や「おきはくんウォーク」による健康ポイント事業等をおこなうとともに、「第2次沖縄市自殺対策計画」を策定します。

また、がん患者の社会参加促進に向け、新たにアピアランスケア用品の購入にかかる助成金交付制度を開始します。

生活習慣病対策につきましては、生活習慣病の発症・重症化予防に向け、特定健診の受診勧奨や特定保健指導等をおこなうとともに、フレイル予防等を図るため、地域包括支援センターと連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組みます。

予防接種につきましては、感染防止や重症化予防等に向け、高齢者の肺炎球菌ワクチンおよびインフルエンザワクチン接種を全額公費で実施するとともに、乳幼児等への接種勧奨や周知等に取り組みます。

次に「人と産業の成長を支え 発展し続けるまち」です。

沖縄アリーナにつきましては、ネーミングライツの導入に向けて取り組むとともに、MICEや大型イベント等の誘致をすすめます。

沖縄こどもの国につきましては、新たな価値の創出を図るため、夜の開園をスタートし、魅力あるナイトコンテンツの展開に取り組めます。

また、施設エリアの拡充に向け、拡張区域の用地取得をおこないます。

エイサーのまちの推進につきましては、エイサー文化の発信拠点となるエイサー会館において、エイサー講座やエイサー検定等をおこないます。

また、エイサー文化の継承発展に向け、沖縄全島エイサーまつりをはじめ、エイサーナイトや地域のエイサーまつりの開催等を支援します。

音楽によるまちづくりの推進につきましては、音楽のまちとしてのブランド力向上を図るため、ピースフルラブ・ロックフェスティバルをはじめ、多彩な音楽イベントの開催を支援します。

また、本市の豊富な音楽資料を活用した展示をおこなうとともに、ミュージックタウン音市場や音楽月間等において、魅力ある音楽鑑賞の機会を提供します。

観光の振興につきましては、マスメディアやSNS等を活用し、幅広く情報発信をおこなうとともに、バリアフリー観光等の推進に取り組めます。

スポーツコンベンションの推進につきましては、アウエイ
ツーリズムに取り組むとともに、スポーツ合宿や大会の誘致等
をおこなう沖縄市スポーツコミッションの活動を支援します。

また、(仮称)アーバンスポーツパークの持続可能な施設運営
に向けた調査をおこないます。

モータースポーツの振興につきましては、沖縄アリーナを活
用した「オキナワモーターショー2024」を開催するとともに、
モータースポーツマルチフィールド沖縄において、地域および
企業との連携やカートの導入等により利用促進を図ります。

商店街の活性化につきましては、誘客促進の向上等に資する
取り組みを支援するとともに、新たに商店街の組織力強化等
に向けた活動を支援します。

また、銀天街の活性化を図るため、まちづくりワークショップ
や勉強会等の開催をとおして、地域課題の解決を促進します。

企業誘致の推進につきましては、沖縄市企業誘致基本方針で
位置づけた重点地区の利活用に向け、企業誘致の可能性調査を
実施します。

また、本市へ新たに立地する企業に対する優遇措置をおこな
います。

工芸によるまちづくりの推進につきましては、沖縄市工芸フェアの開催、コザ工芸館ふんどうの運営や国の伝統的工芸品である知花花織の担い手育成等を支援します。

ものづくり産業の振興につきましては、生産者の意欲高揚および市産品の周知促進に向け、沖縄市産業まつりの開催を支援するとともに、事業者の収益性の向上を図るため、新商品開発や販路開拓等の支援に取り組みます。

中城湾港新港地区につきましては、物流の促進および定期航路の開設に向け、関係機関と連携し、輸送費の助成をおこないます。

就労支援につきましては、子育て世代や障がい者等に対する就労相談や定着支援等を実施するとともに、沖縄産業開発青年協会に入隊する若年者を支援します。

また、ひとり親に加え、新たに若年者を対象としたデジタル人材育成に取り組みます。

創業支援につきましては、市内への産業集積に向け、スタートアップに関する事業計画の策定および金融機関等と連携した資金調達を支援するとともに、創業にかかる情報の発信や創業スクールの開催等に取り組みます。

農業の振興につきましては、スマート農業技術の導入を支援するとともに、農民研修センター周辺の活性化に向け、ふれあい広場を活用したイベントの開催を支援します。

また、担い手の確保および育成を図るため、地域農業の将来のあり方および農地利用の具体化を示す「地域計画」を策定します。

畜産業の振興につきましては、畜産経営の安定化を図るため、畜産共進会の開催により、農家の技術向上や交流等を促進するとともに、家畜伝染病の予防や優良種畜の導入等を支援します。

水産業の振興につきましては、小学生を対象とした水産教室および中学生を対象とした漁業体験をおこなうとともに、漁家経営の安定化に向け、浮漁礁の設置や漁船装備品の近代化等を支援します。

次に「環境と調和し 安心して住み続けられるまち」です。

環境にやさしいまちづくりにつきましては、ゼロカーボンシティを推進するため、太陽光発電システム等の設置補助に加え、新たに省エネ診断およびZEB化設計費用の一部を助成するとともに、相談窓口の設置やホームページを通じた情報発信等に取り組めます。

また、出前教室や市民参加型のイベント等を開催し、ゼロカーボンアクション 30 の普及を図ります。

災害等に強いまちづくりにつきましては、防災行政無線改修工事の実施設計をおこなうとともに、防災士資格の取得を支援します。

また、自主防災組織の資機材を拡充するとともに、結成・活動を支援し、地域防災力の向上を図ります。

避難行動要支援者の避難支援に関しては、地域と連携した対象者の把握や個別避難計画の作成等に取り組みます。

消防・救急体制につきましては、市民の安全・安心の確保に向け、高規格救急自動車を更新するとともに、コンビニエンスストアへのAED設置および応急手当講習会の開催に取り組みます。

防犯環境づくりの推進につきましては、夜間における市民の安全を確保するため、保安灯のLED化を加速するとともに、自治会が負担する保安灯電気料金の負担軽減に取り組みます。

消費者行政につきましては、高度化・複雑化する消費者トラブルの未然防止に向け、継続して消費者教育および啓発活動に取り組みます。

都市計画につきましては、持続可能で快適なまちづくりに向け、立地適正化計画の素案を作成するとともに、用途地域等の見直しに取り組みます。

キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区につきましては、返還後の地域経済活性化を見すえ、緑地公園の一般利用早期実現に努めるとともに、継続して「跡地利用整備計画」の策定に取り組みます。

火葬場の整備につきましては、環境に配慮した施設づくり等に向け、周辺地域の生活・自然環境への影響調査を実施します。

中の町地区土地区画整理事業につきましては、賑わい創出と定住促進に向け、物件移転補償をおこなうとともに、物件調査を実施します。

安慶田地区土地区画整理事業につきましては、住環境の改善に向け、物件移転補償をおこなうとともに、物件調査を実施します。

美里第二土地区画整理事業につきましては、早期完了に向け、換地計画の策定に取り組みます。

東部海浜開発地区「潮乃森」につきましては、埋立、橋梁や臨港道路等の早期完成に関する要請をはじめ、企業誘致および民間活力導入を効果的にすすめるための検討に取り組むとともに、スーパーヨットの誘致に向け、マリーナ整備の検討および国外先進地の視察をおこないます。

また、「潮乃森」を広く周知するため、部分的にビーチ運用を開始します。

企業誘致に関しては、認知度向上および企業進出の機運醸成に向け、沖縄市東部まつりと連携し、潮乃森大花火を実施するとともに、企業等の動向について情報収集をおこないます。

総合的な交通体系の構築につきましては、快適で移動しやすい道路環境の実現に向け、「(仮称)池武当IC」の整備および登川クランク交差点の改良を促進します。

また、嘉手納飛行場の共同利活用について調査研究をおこないます。

道路整備につきましては、胡屋8号線やセンター中央通り線等の用地購入・物件移転補償をおこなうとともに、安慶田中線6工区、センター中央通り線および諸見里山里線の道路改良工事を実施します。

市北部地域の道路整備につきましては、交通渋滞の緩和および歩行者の安全確保に向け、登川 38 号線の用地購入および物件移転補償をおこないます。

公共交通につきましては、公共交通ネットワークの利便性向上を図るため、循環バスを 4 ルートで運行するとともに、国道 330 号の胡屋・中央地区における交通結節点の整備促進にかかる基本計画を策定します。

道路の維持管理につきましては、日常点検および道路損傷等通報アプリにより損傷・不具合を迅速に把握し、早期対応に努めます。

市営住宅につきましては、老朽化した建物を更新するため、山内市営住宅の磁気探査や本体工事等を実施するとともに、池原市営住宅の「再生団地計画」を策定します。

住環境の向上につきましては、空き家等の適正管理や利活用等を促進するため、啓発活動に取り組むとともに、新たに地域住民の生活環境に影響を及ぼす恐れのある空き家等の除去費用を補助します。

また、通学路等におけるブロック塀の撤去および住宅リフォームを支援します。

公園整備につきましては、西森公園における空洞安全対策の検討や吉原公園のトイレ整備等に取り組むとともに、公園の機能向上に向け、防災公園導入施設実施設計をおこないます。

緑化推進につきましては、緑と花あふれるガーデンシティーに向け、市民参加による花いっぱい推進運動を実施するとともに、コザ運動公園に花の壁面パネルを設置します。

上水道事業につきましては、泡瀬地区や松本地区等の配水管布設実施設計をおこなうとともに、泡瀬地区や古謝地区等の配水管布設工事を実施します。

汚水事業につきましては、大里地区や高原地区等の汚水枝線工事をおこなうとともに、未接続世帯に対して公共下水道への接続を促進します。

雨水事業につきましては、浸水被害の軽減に向け、古謝地区の雨水整備実施設計等をおこなうとともに、古謝地区や安慶田地区等の雨水枝線工事を実施します。

市制施行 50 周年記念事業につきましては、市政の発展に特別な貢献があった方々を表彰する記念式典や記念祝賀会の開催をはじめ、沖縄こどもの国における各種ナイトコンテンツの実施

および潮乃森のビーチの部分的オープンに取り組むとともに、沖縄全島エイサーまつりにおいて、兄弟・姉妹都市のエイサー団体を招へいします。

また、兄弟・姉妹都市との平和交流、舞台公演「綾庭の宴」の県外開催や市制施行 50 周年を記念した特別な音楽イベントをおこなうなど、各種事業に取り組めます。

以上、令和 6 年度の主な施策の概要を申し上げました。

これらの施策をはじめとする諸事業を推進するために、令和 6 年度の予算編成にあたっては、

一般会計において 78,503,000 千円、

特別会計において 31,678,188 千円、

企業会計において 9,581,244 千円の規模となっております。

本市の財政状況につきましては、市税が増加傾向にあるものの、財源の大半が地方交付税や国庫支出金等となっており、昨今のエネルギー価格の上昇や物価高騰等の影響に加え、義務的経費の増加による厳しい財政状況が今後も続くことに危機感を抱いております。

しかしながら、いかなる困難に直面しようとも、多様な市民ニーズをはじめとする時代の要請に的確に答えていくためには、不断の行財政改革に取り組まなければなりません。

事業の選択と集中や業務の効率化により、財政の健全化を図るとともに、デジタルを活用した行政サービスの向上や合理的根拠に基づく施策の推進など、将来を見すえた持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

市政運営にあたっては、市民の皆さまのさまざまな声にしっかりと耳を傾けることが重要であります。

私は、コロナ禍で規模を縮小していた「(仮称)タウンミーティング」を本格的に再開し、皆さまと直にお会いして、率直な意見交換や対話を重ねながら、その一つひとつの想いを市政運営に活かしてまいります。

そして、これからも市民の皆さまが必要とするサービスを、しっかりと届けてゆくためにも、職員力を高めることが重要であります。

職員一人ひとりが、全体の奉仕者という自覚を持ち、慈愛と謙虚の心で市民の皆さまに接し、市民の皆さまから信頼される「日本一の市役所」に取り組んでまいります。

私は、市制施行 50 周年という、記念すべき節目を迎えるにあたり、先人たちが築き上げた沖縄市をしっかりと継承し、未来につなげていけるよう、限らない発展へと向かう新たなスタートラインに立ち、強い責任感と使命感をもって、第一歩を力強く踏み出してまいります。

市民の皆さま並びに議員の皆さまのより一層のご理解とご協力を
をお願い申し上げます、私の施政方針といたします。

令和6年2月14日

沖縄市長 桑江朝千夫